

# CLIP STUDIO テンプレートご使用時の注意点

※データ作成時の注意点等の詳細については、同梱のマニュアルをご確認ください。

## テンプレートと書き出しについて

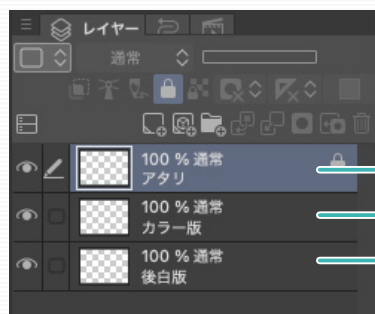
各商品の Photoshop テンプレートに同梱されている「xxx.clip」をご使用ください。

※ソフトの操作方法についてはサポート対象外となっています。ソフトの制作会社にお問い合わせください。

※CLIP STUDIO で作成されたデータは、必ず Photoshop 互換の PSD 形式で書き出してください。

## レイヤー構成について

<レイヤーパレットについて>



### アタリレイヤー

仕上りの抜きの目安になるアタリのレイヤーです。

**ここには書き込み等をおこなわない**でください。

(誤作業防止のため、初期状態ではロックがかけられています)

### カラー版レイヤー

カラーで印刷したい絵柄のデザインはこのレイヤーに行ってください。

**このレイヤー内のものはすべて印刷されます。**

アタリやメモ書き、透明擬似のグレー等をいれないでください。

### 後白版レイヤー

カラー版のデザインを透けない仕上がりになりたい場合、ここに **K で白版データを作成** してください。グラデーションやKの%を下げることで、半透明のデザインも可能です。

また、**白のみで表現したいデザインもこのレイヤーに作成**してください。

カラー版の白=色がない=素材の色になります。紙素材では紙の色、PP 素材では透明になります。白印刷がない商品（紙、白 PVC）はこのレイヤーは不要です。

## 納期ずれを防ぐために…データ入稿前のチェックをお願いします

**下記 5 つのポイントをご確認いただくだけで、再入稿リスクを大幅に削減できます！**

### ☐ 当社テンプレートを利用いただけていますか？

仕上がりサイズ、形状は会社によって異なります。必ずドージンファクトリーのテンプレートをご利用ください。

### ☐ 不要オブジェクト、不要レイヤーは整理されていますか？

不要なレイヤーやオブジェクトは削除し、テンプレートに初期状態で設定されているレイヤーのみの状態にしてください。

### ☐ 塗りたいは作成されていますか？

仕上がりまで絵柄を入れる「裁ち落としのデザイン」の場合、仕上がりより 3mm 外まで絵柄を作成してください。

### ☐ 透明素材、銀色素材を使用するものは、白版が作成されていますか？

クリアファイル、クリアカード、アクリルグッズ、クリア PVC ステッカーのような透明素材、銀ツヤタックのような銀色素材は、白版がない場合、カラー絵柄はすべて透けた仕上がりになります。意図的に白版が不要（完全に透けた仕上がり、銀色に色がのったメタリックカラー風の仕上がり）な場合、入稿時の備考に白版不要とお書き添えください。

### ☐ 入稿データは PSD で書き出されていますか？

色再現性の都合上、CLIP STUDIO データ (.clip) は受け付けておりません。入稿時は必ず Photoshop ドキュメント形式 (.psd) で書き出したデータをご入稿ください。

## カットパスが必要なグッズについて

マルチステッカー、ダイカusstッカー、アクリル各種等、お客様にてカットパスを作成いただく必要があるものは、テンプレート内にカットパスレイヤーが作成されています。

同梱のマニュアルをご確認いただき、カットラインの注意に従ってカットパスを「塗り」にて作成してください。

なお、アクリルジオラマ、アクリルスタンド、アクリルキーホルダー、アクリルマーカチャームにつきましては、規定形状のパーツがあらかじめテンプレート内に作成されておりますので、お客様にて形状のカットパスを作成後、規定形状パーツを合成してください。(カットパス制作時のルール等は同梱の Photoshop マニュアルに詳しく記載されています。)

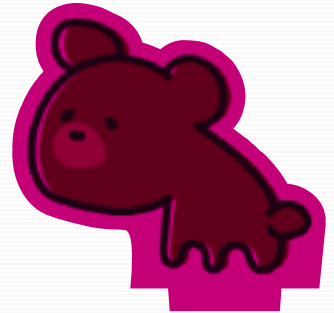
### 【ジオラマ・スタンドの本体の場合】

▶デザイン作成

▶カットパス作成

▶規定パーツ配置

▶形状調整



安定性確保のためこの幅は変えないでください。

### 【キーホルダー・マーカチャームの本体の場合】

▶デザイン作成

▶カットパス作成

▶規定パーツ配置・位置調整



内側の穴の周囲 2mm に絵柄がかからない様に注意。

## Tips 白版の種類と効果的な白版の作り方

### 全面白

白版オフセット不要

仕上がりに対し全面に白版を作成すること。



カラー版

後白版



#### ■ポイント

- ・絵柄をハッキリ見せることができる。
- ・QRコードやJANコードがある場合、読み取りがしやすい。
- ・素材感（透け感、メタル感）は少なめ

### 半面白

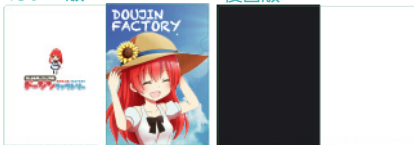
白版オフセット不要

クリアファイルのような中央で折りのあるグッズで片面は透明、片面に白版を作成すること。(例は裏面半白)



カラー版

後白版



#### ■ポイント

- ・クリアファイルの中の書類が確認しやすい。
- ・半面を素材感が生かした仕上がりになれる。
- ・反対面の絵柄や白版が透明側に干渉しやすくなるため、デザイン時に注意。

### 部分白

絵柄の下のみに白版を作成したり、白版のみのデザインを部分的にすること。



カラー版

後白版



#### ■ポイント

- ・目立たせたい部分のみに白版を作成することで、わかりやすいデザインになる。
- ・絵柄のみに白版を作成することで、奥行きのあるデザインになる。

## 【作業のながれ】

### step1. 白版作成

元データファイルをコピーして白版用データを作成する。  
解像度を設定する。  
白版を作りたいパーツのみをコピーしてレイヤーにまとめる。  
黒ベタレイヤーを作成し、クリップする。

### step2. オフセット

オフセットが必要な箇所はオフセットする。

### step3. 最終確認

白版の欠け、はみ出し、塗り残しがないかを確認する。



この下に白濃度 100%の白版を作ります

## step1. 白版作成

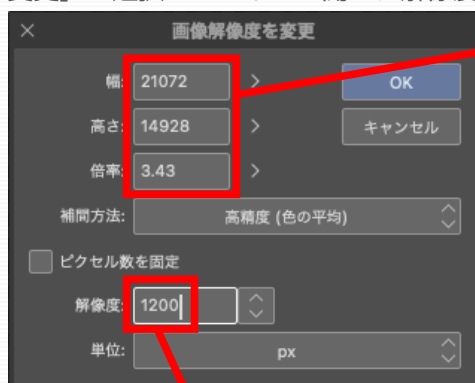
### 解像度を設定する

カラー版用のファイルをコピーし、白版専用のファイルを作成します。(解像度を変更するので、別ファイルにすることをお勧めします。) 滑らかな白版を作成するため、解像度を少し高めの「1200dpi」に設定します。

メニューバーより「編集」→「画像解像度を変更」を選択してパネルを開き、解像度を変更します。



チェックを外す



解像度を入力

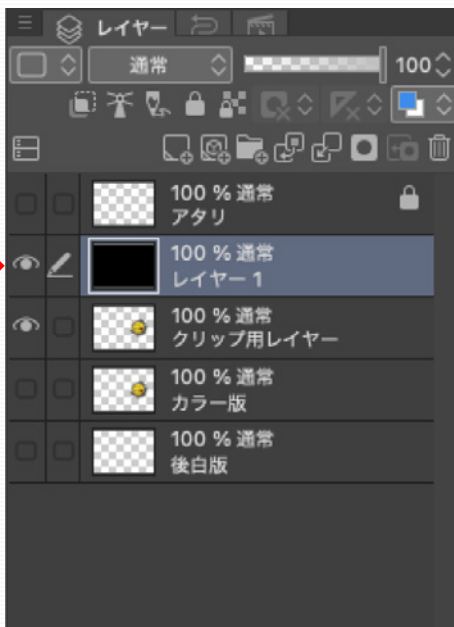
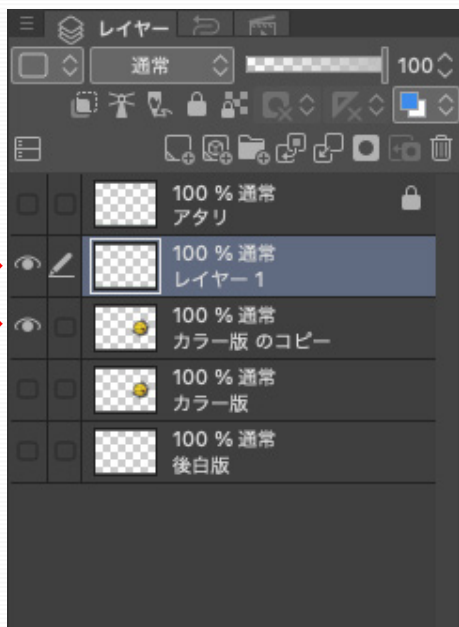
ピクセル数が変わります

### POINT

ピクセル数を固定にチェックを入れると解像度に応じて画像サイズが小さくなってしまいます。チェックが外れていることを確認してから解像度を変更しましょう。

### 白版を作りたいパーツのみをコピーしてレイヤーにまとめる

今回の場合はカラー版のイラスト全てに白版を作成するため、カラー版を丸ごとコピーしました。(クリップ用レイヤー) その上に新規レイヤーを1枚作成し、黒でベタ塗りしてください。



この時点で画面はこんな感じ



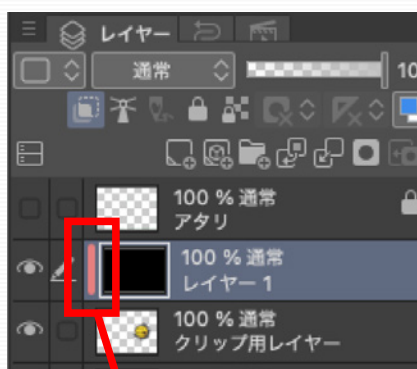
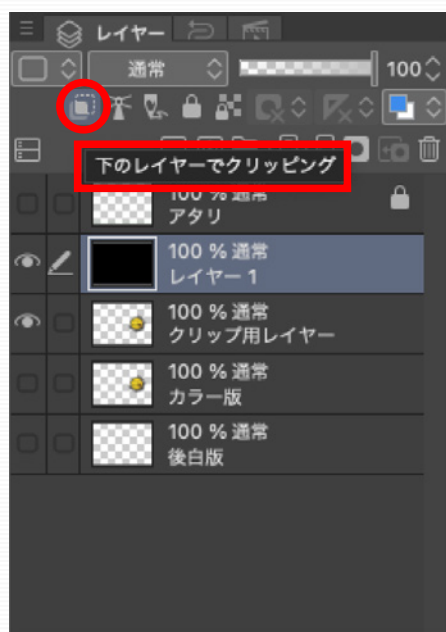
### POINT

カラー版からパーツをコピーする際、絵柄下びったりで白版を作る部分と、白フチまたは白印刷のみの部分（オフセットが必要ない部分）をレイヤーで分けておくと、オフセット作業がやりやすくなります。

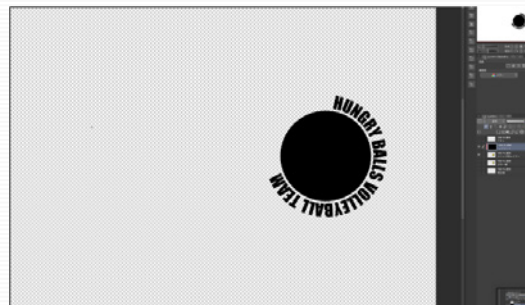


## 黒ベタレイヤーをクリップする

黒ベタのレイヤーを選択した状態でレイヤーパレットにある「下のレイヤーでクリッピング」をクリックします。



画面はこんな感じに！



すぐ下のレイヤーでクリッピングされた目印

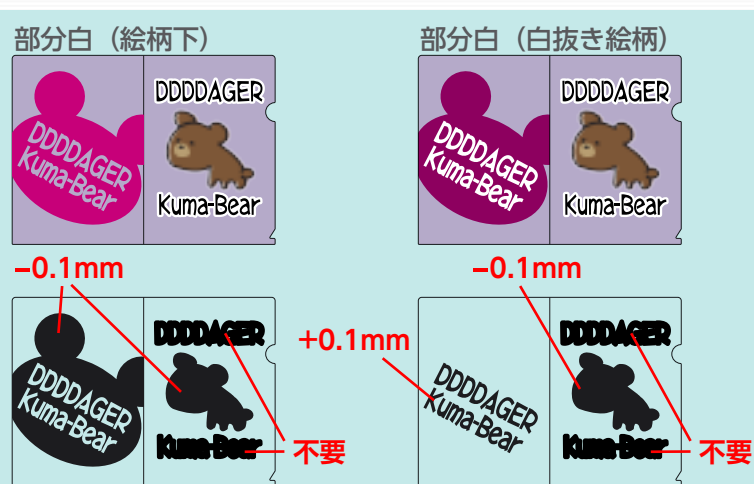
### POINT

前の工程で、白フチまたは白印刷のみの部分（オフセットが必要ない部分）を別レイヤーで作った場合は、そのレイヤーの上に新たに黒ベタレイヤーを作成し、同じように「下のレイヤーでクリッピング」を行って白版を作成します。

## オフセット不要

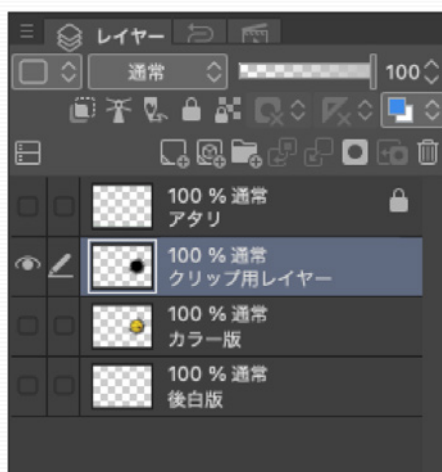
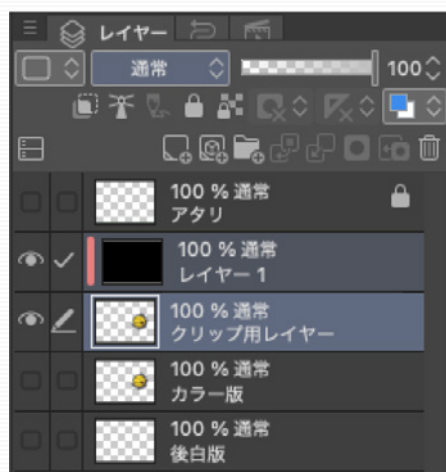


## オフセットが必要



## クリップしたレイヤーを統合して白版を確定させる

この状態であれば、クリップ用レイヤーを修正することで、白版の形状を変更することができます。白版ができれば、黒ベタレイヤーとクリップ用レイヤーの2つを選択→右クリック→「選択中のレイヤーを結合」で確定させます。

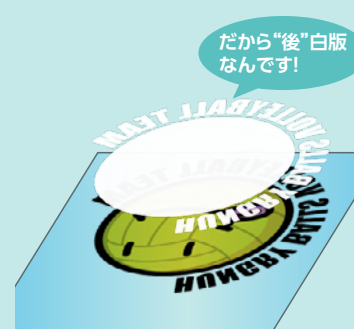


ここで step1 は終了です。  
一旦別名保存などで保存することをお勧めします！

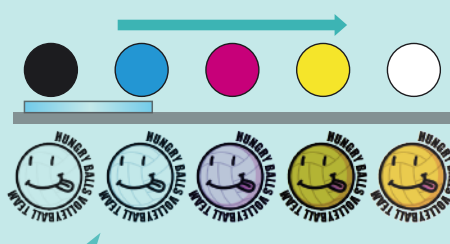
## step2. オフセット

### まずはここ！「オフセットはなぜ必要なのか？」

クリア素材に印刷する際、多くの場合は擦れることによる削れを防止するため、カラー版・白版を逆像に変換して、裏面から印刷をします。

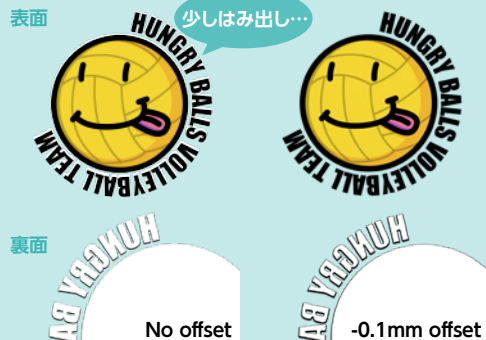


印刷機の中を素材が通過し、カラー（KCMY）と白のインクが順番に重ねて印刷されますが、その過程で素材に若干の伸びが発生します。



ここで各色にずれが生じるのが「版ズレ」や「見当ずれ」と呼ばれるものです

印刷時の設定でほとんどの版ズレは補正されますが、一番最後に印刷される白インクはどうしてもズレが大きくなります。そのズレを目立たなくするのが「オフセット」です。



### 自動選択ツールでオフセットしたい図形を選択する

前工程で白版を作成したレイヤーを選択し、ツールより自動選択を選びます。

(オフセットが必要ない白フチまたは白印刷のみの白版レイヤーがある場合は、一旦非表示にしてください。)

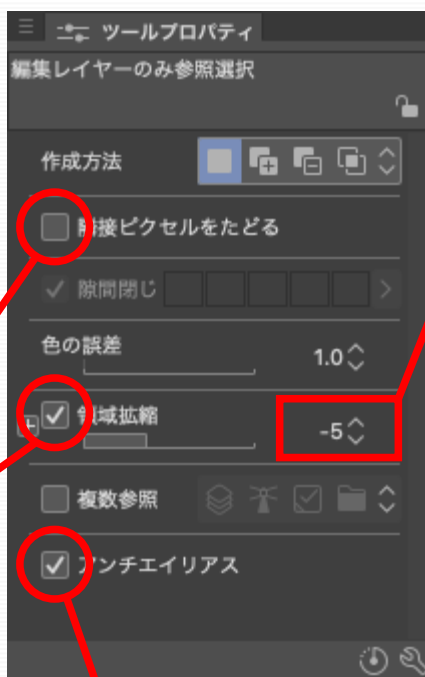
ツールプロパティを設定後、白版の黒ベタ部をクリックすると、オフセット幅分が縮小された白版領域が選択されます。

(一箇所ずつ確認しながら選択したい場合、隣接ピクセルをたどるにチェックを入れて一箇所ずつ選択してください。)



チェックを外す

チェックを入れる



-5px または-0.1mm

※環境設定により単位は異なります。  
環境設定 > 定規・単位 > 長さの単位を  
ご確認ください。

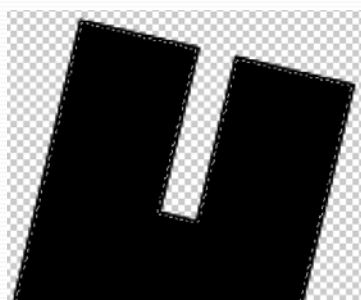
#### POINT

ここでの5px=0.1mmは解像度が1200dpiの場合の幅です。350dpiで5px縮小すると、mmに換算すると約0.36mm縮小されることになります。必ず白版を作る最初のステップで解像度設定を行ってください。

ジャギー感（ピクセルのガタつき）を軽減したい場合、アンチエイリアスにチェックを入れる

### オフセットの幅の分だけ白版を削除する

メニューバーの「選択範囲」より「選択範囲を反転」で選択範囲を反転し、Delete でオフセット部分を削除します。



この範囲が削除されます

ここで step2 は終了です。  
一旦別名保存などで保存する  
ことをお勧めします！

### step3. 最終確認

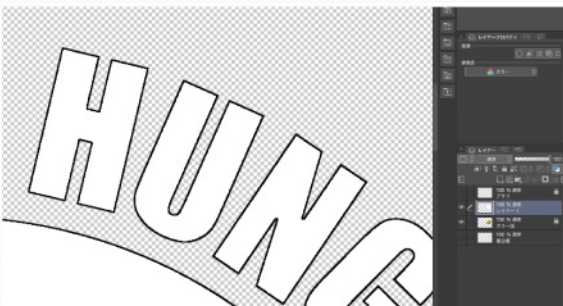
#### 欠け、はみだし、抜けの確認

クリップに使用したカラー版自体に塗り忘れ、はみだし、塗りムラがあった場合、白版も同じ形状になります。また、データチェックは印刷データとしての適正を確認するチェックであり、デザイン上のミスは確認されません。仕上がりがごっかり…とならないよう、最終確認を行います。カラー版が黒で、白版との重なりが見つらい場合、メニューバーの「編集」>「色調補正」>「階調の反転」で白版の階調を反転すると確認しやすくなります。(確認後、白版は黒ベタの状態に戻してください)

カラー版と重ねて表示して



白版の階調を反転



確認後は元の黒ベタに戻すのを  
お忘れなく！

#### よくある白版作成時のエラー

##### 中窓の抜き忘れ

確認用のレイヤー作成>目立つ色でベタ塗り>重ねて表示で隙間確認



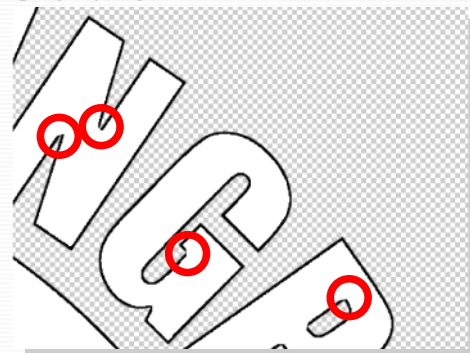
##### カラー版とのズレ

必ず最終はカラー版と重ねて確認を！



##### 角部分のはみ出し

自動選択は便利だけど…細部は目視&手動で微調整がベスト



全ての確認ができましたら、白版のレイヤーをテンプレートの「後白版」レイヤーに全て統合し、アタリ・カラー版・後白版3レイヤーの状態にして作業終了です。おつかれさまでした！

#### Tips 入稿データの書き出しの仕方

##### 【全白・半白のオフセット不要のもの】

カラー版・白版を1データで入稿 OK！

ファイル>複製を保存>任意のファイル名 .psd  
PSD 書き出し設定>カラー>表現色：CMYK

##### 【1200dpi の白版オフセットを行ったもの】

カラー版 (350dpi)

後白版を削除し、アタリ・カラー版の2レイヤーにする  
ファイル>複製を保存>●●●\_カラー版 .psd  
PSD 書き出し設定>カラー>表現色：CMYK

後白版 (1200dpi)

カラー版を削除し、アタリ・後白版の2レイヤーにする  
ファイル>複製を保存>●●●\_後白版 .psd  
PSD 書き出し設定>カラー>表現色：RGB

##### 【カットパスが必要なもの】

カットパスは別データで！ (350 または 1200dpi)

アタリ・カットパスの2レイヤーにする  
ファイル>複製を保存>●●●\_カットパス .psd  
PSD 書き出し設定>カラー>表現色：RGB

#### POINT

CMYK変換時の色差が心配な場合は、書き出し設定のカラーをRGBのままで書き出し、入稿時の備考に「RGBで書き出し。大きく色が変わる場合は要連絡」と書いていただくと、データチェック時に確認してご連絡します。(色見本合わせ等の個別調整は行いません。厳密に確認したい場合は本機校正をご利用ください。)